

<受賞理由詳細>

【個人】林野庁（小林 正典）

《新たな野生鳥獣捕獲手法を考案し、農林業の課題である獣害対策に尽力》

氏名・官職・略歴等	組織の概要等
こばやし まさのり 小林 正典 農林水産省 林野庁近畿中国森林管理局 計画保全部 保全課 保護係長	農林水産省は、食料の安定供給の確保、農林水産業の発展、農林漁業者の福祉の増進、農山漁村及び中山間地域等の振興、農業の多面にわたる機能の発揮、森林の保続培養及び森林生産力の増進並びに水産資源の適切な保存及び管理を図ることを任務としており、林野庁は農林水産省の外局である。林野庁近畿中国森林管理局は、林野庁の地方支分部局であり、2府12県（石川県、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）を管轄し、管理経営計画の樹立その他の国有林野の管理経営、民有林野の造林及び森林の経営の指導並びに森林治水事業の実施、林野の保全に係る地すべり防止に関する事業実施に資する事務を行っている。 計画保全部保全課においては、国有林野の活用に関すること、国有林野その他森林管理局所属の国有財産の管理及び処分に関すること並びに国有林野の森林病虫害の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事務を所掌し、保護係においては、森林の保護に関する事務を行っている。

受賞理由（概要）

小林氏は、近畿中国森林管理局和歌山森林管理署在勤中、シカ等の野生鳥獣による農林業への被害軽減に資するため、初心者でも簡単に罠を設置でき捕獲効率も高い、新たな野生鳥獣（シカ、イノシシ）の捕獲方法である「小林式誘引捕獲法」を考案し、現在は、全国各地で開催される現地検討会や研修会などに講師として出向いて同捕獲法の普及に努めることにより、農林業の重要課題である獣害対策に寄与している。

受賞理由

1 職務の内容・重要性

小林氏の現在の職務は、国有林野等における森林の保護や森林病虫害等の駆除及び予防に関する事務である。当該職員は、平成27年に和歌山森林管理署に在籍の際、治山事業の緑化工法におけるシカ食害への対応として、竹を利用したシカ侵入防止工法を開発、平成29年度に林野庁長官賞を受賞、平成30年度に近畿地方整備局の優秀賞を受賞している。

その後、当該職員は、農林業全般にわたる問題であるシカ被害の軽減、くくり罠を使用したシカ捕獲にも携わるようになり、その中で新たな捕獲方法を考案するに至った。この方法は同署において「小林式誘引捕獲法」と命名され、和歌山県にとどまらず近畿中国森林管理局管内各府県のシカ捕獲事業等で成果をあげている。当該職員は令和2年度から同局保全課に在籍し「小林式誘引捕獲法」の全国的な普及に努めている。

2 職務の特殊性・勤務環境

日本国内におけるシカの生息域は2014年までの36年間で約2.5倍、生息数も2019年までの30年間で約7倍の189万頭と増加し、野生鳥獣による農作物被害は161億円（うちシカ被害は約6割）、森林の被害面積は年間約5,700ha（うちシカ被害は7割）（いずれも令和2年度）と甚大なものとなっている。

一方、従来、くくり罠により野生鳥獣を捕獲する場合、獣道の見極めや、獣が足を置く場所の特定などが必要で技術や経験が必要であった。また、設置場所が奥地で道路から遠くなるため見回りや捕獲後の処理に労力が必要なことや、一度捕獲すると獣道が変わり同じ場所での罠の再設置が困難なことなどの課題があった。

3 公務の信頼の確保・向上

上記の状況や狩猟者の減少や高齢化が進む中で、当該職員は、課題解決に向け、シカの行動パターンや習性等を考察した上でくくり罠と誘引餌を効果的に組み合わせた「小林式誘引捕獲法」を考案し、実践したところ、初心者でも簡単に罠を設置でき、効率的にシカを捕獲することが可能となった。

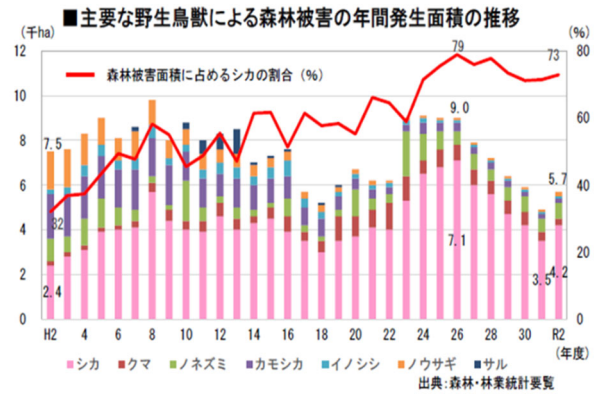
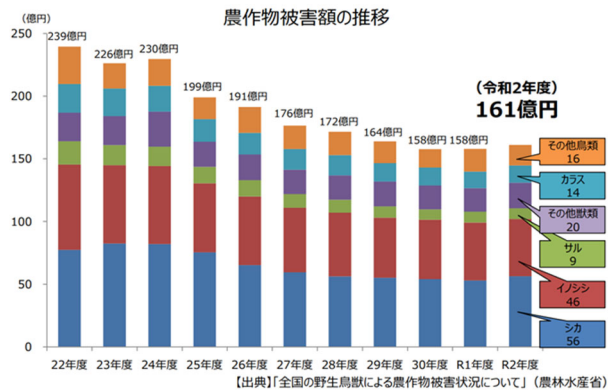
奈良県が実施した事業では、平成30年度に「小林式誘引捕獲法」を導入したところ従来の方法と比べて捕獲効率が約5倍に上がるなど、有効性が確認されている。

また、最近では、多数の猟師がYouTube等で紹介するなど捕獲方法の有効性が認知されており、また、誘引の餌の工夫によりイノシシ等の捕獲も可能であることから、農業への被害対策への寄与も期待できる。

現在、各森林管理署で開催される現地検討会で自治体や林業関係者、猟友会会員への研修のほか、捕獲事業者への現地指導等、延べ400団体以上、1500人以上に普及行うとともに、管轄域のみならず普及活動を全国に展開しているところであり、全国的な課題である農林業における獣害対策に寄与している。

【個人部門（小林正典）】

○シカによる農林業被害の状況



シカによる樹木の剥皮被害



シカの食害による下層植生の消失と表層崩壊

○シカの行動パターンや修正等を踏まえた小林式誘引捕獲法の開発



餌を食べる際に口元の横に前足を置く
シカの習性



罾の周囲を石で囲み、ドーナツ状に餌を蒔く
ことで罾にシカが掛かりやすくする手法を開発

○小林式誘引捕獲法の効果

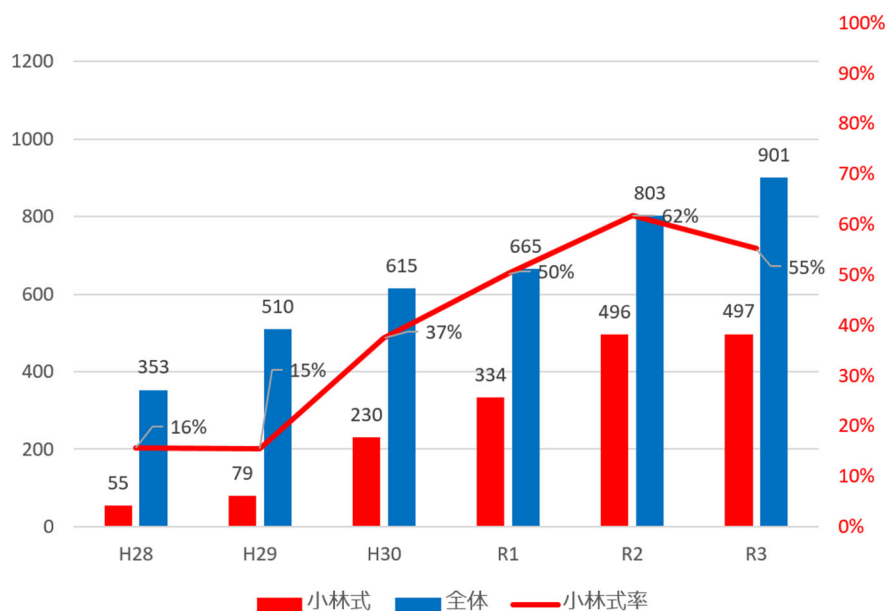


1箇所では複数のシカの同時捕獲を実現



餌を変えることで農業被害をもたらすイノシシの捕獲も可能

近畿中国森林管理局によるシカ捕獲頭数の推移



○小林式誘引捕獲法の普及



行政関係者、猟友会等への普及活動



一般狩猟者による YouTube での小林式誘引捕獲法の紹介